

【学校教育目標】



人間性豊かで、たくましい子どもの育成

めざす学校像

- 元気なあいさつと笑顔にあふれる学校
- 安全で美しく、一人一人がよさを発揮できる学校
- 家庭・地域と一体に、子どもの育成に励む学校

めざす児童像

- すすんで学習する子
- 思いやりのある子
- 体をきたえる子
- かかわり合う子

めざす教師像

- 子どもを大切にし、児童・保護者・地域から信頼される教師
- わかる授業に努め、資質と指導力を向上させる教師
- 目標の具現化へ、組織をもとに創意をもって取り組む教師

5つの「あ」の合言葉

あ いさつ
あ んぜん
あ きらめない
あ たたかい心で
あ りがとう

東っ子の当たり前 「かきくけこ」

「か」 係の仕事をきちんとやる
「き」 聞くときは目・耳・心
「く」 口を結んで掃除
「け」 けじめのある生活
「こ」 困っている人がいたら助ける

「楽しかった!」、「わかった!」

「できそうだ!」、「できた!」

この学校・学級でよかったという実感



学校のシンボル けやき



『わくわく登校・満足下校』

達成感・満足感・充実感・自己肯定感・自己有用感・自信がついた実感

本年度の主な重点取組



(1) 学習指導等

- 確かな学力の向上を目指し、主体的・対話的な学びを充実させ、わかる授業・楽しい授業の実現に向けて日々の授業改善に努めます。
- 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、子どもたち相互が学び合い、深め合い、高め合うような学習集団を育てます。
- 子どもたちが将来に向けての夢を育むキャリア教育やプログラミング教育などの活動を段階的・継続的に取り入れます。
- 1、2年に「英語科」、3、4年に「外国語活動」、5、6年に「外国語科」を実施し、世界を舞台にして活躍できる人材の育成に努めます。
- 「家庭学習のすすめ」を通して、将来にわたり自ら学習する習慣が身につくよう奨励します。

(2) 生徒指導等

- 児童相互、教師と児童、教師と保護者との温かい関係づくりに努め、創意と活気に満ちた教育活動を推進するとともに、教育相談体制を充実させます。
- いじめの未然防止・早期発見・早期解決に全職員で組織的に取り組みます。
- 子どもたちの自己肯定感を高め、コミュニケーション能力・社会性向上に努めます。
- 自分のよさに気づき、自分が好きになるよう、また夢や希望をもって未来に向けて人生や社会を切り開く実践的なたくましさを育むことを目指します。

(3) 特別支援教育の推進

- 一人一人の教育的ニーズを把握し、学校・保護者・関係機関と連携しながら効果的な支援を目指します
- インクルーシブ教育システムの構築に学校全体で取り組み、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備や全ての授業における困難さに対する指導や手立てを工夫します。
- 個々の困り感に寄り添い、校内委員会やケース会議等の相談支援体制の整備充実を図ります。



(4) 安心で安全、元気な学校づくり

- 安全防災教育を推進して防災意識の高揚を図り、災害に強い学校づくりに努めます。
- 家庭・地域と連携して、登下校時の交通安全の推進、継続的な見守りに努めます。
- 積極的な情報発信に努め、社会に開かれた地域とともに歩む学校を目指します。
- 体育時間をはじめ、体育的行事の充実や日常の運動を奨励し、体力向上を図ります。

(5) 道徳・人権教育の充実

- よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、「特別の教科 道徳」が学校教育活動全体を通して行う道徳教育の要としての役割を果たすよう、授業力向上に努めます。
- 「自分の大切さとともに他の大切さを認める」ことができるよう、規範意識や人権感覚を高めることに重点を置いた指導を推進します。
- 「かかわり合う子」を特に大事な目標の視点とし、思いやりの心と人として正しい判断力が身につくように指導します。

